

5歳刻みでの比較 (走り出し、飛び降りのみ)

		発現率の比	95%信頼区間	
			下限	上限
2007/3/20 以前と 2007/2008 2008/2009 との比較	5歳未満	.8112103	.3011832	2.184923
	5-9歳	.9137064	.5345999	1.561653
	10-14歳	.9874282	.6104609	1.597178
	15-19歳	1.248483	.3352594	4.649267
2007/3/20 以後と 2007/2008 2008/2009 との比較	5歳未満	.7189554	.1668227	3.098481
	5-9歳	.7017565	.2538173	1.940223
	10-14歳	1.220192	.5211484	2.8569
	15-19歳	0	N.A.	N.A.

まとめ

- 通知の対象である10代の重度の異常行動、あるいは走り出し・飛び降りに関しては、2006/2007シーズンの通知前と2007/2008, 2008/2009シーズンでは発現率に有意な差はない
- 10-14歳においては、2006/2007シーズン通知後よりも2007/2008, 2008/2009シーズンの方が重度の異常行動の発現率が有意に低い（走り出し・飛び降りに限定すれば有意差はない）